****

≪学習問題≫

花壇にある植物の名札をつくろうと思います。

　$\frac{４}{５}$ ㎡の板を同じ面積になるように3枚に切ります。

1枚の名札は何㎡になりますか。

①本時を構想する上でポイントとなる素地

○問題解決のための知識・技能

・分数と整数のかけ算の仕方を理解し，計算できる。

○既習とつなぐ見方・考え方

・分母が異なる等しい分数のつくり方や，分数のかけ算を図で表して説明する学習をしている。

教材研究ノート№6-A-2

≪定着・活用問題≫

主眼

≪学習問題≫

授業計画･実施記録

②見通し：分子の4が3でわれない。

→分子が3でわれる，同じ大きさの分数にすればよさそうだ。

②学習課題：分子が3でわれるように分数を変えたり，図で3つに分けたりして，$\frac{４}{５}$ ÷3の計算の仕方を説明しよう。

③個人追究：式や図を使って追究し，説明を考える。

１　課題とまとめを一体のものとしてとらえるには

④共同追究前半（解法の比較検討）

「どの求め方にも共通していることは何だろう？」

→「分子の4を3でわれる数にするために，分母，分子の両方に3をかけている。」

→「分母も板の分け方も15になっている。」

④共同追究後半（思考を深める）

「分母にわる数をかけて，わったことになるのかな？」

→「$\frac{１２}{１５}$ ÷3 のやり方を，$\frac{４×３}{５×３}$ ÷3 と考えれば，$\frac{４}{５×３}$ の式に直すことができるからよい。」

　「図の長方形の部分1個分が，$\frac{１}{５×３} $で，その4個分だから　　　$\frac{４}{５×３}$と計算してよい。」

⑤まとめ（児童生徒の言葉で）

・分子がわる数でわり切れるように，分母の違う同じ大きさの分数に変えれば，分数÷整数のわり算ができる。

・分母にわる数をかけて，計算してもよい。

⑥定着･活用問題

右の図に合う式をつくり，

計算しなさい。

1㎡う

1㎡う

→

＜本時の展開に当たっての留意点＞

・分子÷整数という考え方とつなげられない場合には，$\frac{４}{５} $÷2を例示して，分数÷整数の基本は，分子÷整数であることに気付かせるとよい。

・図で追究し，$\frac{４}{５}$ の部分のみを3等分して $\frac{４}{１２} $とした児童には，1と考えた全体の量に着目させ，全体からみると $\frac{１}{１５} $であることに気付かせたい。